

巻 頭 言

三重大学大学院生物資源学研究科紀要第 47 号をお届けいたします。

本紀要は、学外の研究者や市民の皆様にも三重大学大学院生物資源学研究科の活動内容をご報告するとともに、本研究科の教員や学生が、自らの教育・研究組織を理解することにより、さらに社会に貢献できるようになることを目的として毎年、編集・発行されているものです。本号では、2 報の論文と 1 報の解説を掲載しております。論文の 1 報は、キクラゲ属 (*Auricularia*) の標本を対象に、近年改訂された形態的基準に基づいて分類学的に再検討したものです。別の 1 報は、小型鯨類スナメリを対象とした、伊勢湾西岸における漂着などのストランディングに関する 2011～2020 年の記録です。解説の 1 報は、身近な森で行われた線虫の研究に関するものです。

前号と同じように、本研究科教員による出版物目録、博士後期課程の学位論文要旨、博士前期課程の学位論文（修士論文）と卒業論文の題目を掲載しましたので、あわせてご覧ください。これらをご覧くださいことにより、直近の本研究科における研究テーマの動向をご理解いただけるものと思います。

なお、本紀要に掲載した論文の PDF ファイルは過去のバックナンバーも含めて、三重大学附属図書館のホームページ学術機関リポジトリ研究教育成果コレクション (MIUSE) から無料でダウンロードできるようになっています。こちらもどうぞご利用下さい。

今後とも、生物資源学研究科の教育・研究にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げますとともに、本紀要に対する読者の皆様からの忌憚のないご意見を賜れば幸甚です。

2021 年 12 月

三重大学大学院生物資源学研究科長 奥 村 克 純